



ジヨホール日本人学校 学校だより

# みんなの学び舎

令和6年12月24日

第17号

「終業式 校長あいさつ」

令和6(2024)年度 2学期 終業式 校長あいさつ

2学期の初めに「**なりたい自分を見つけよう!**」「**本気で取り組む2学期にしよう!**」そんな話をしました。どうでしょうみなさん。「なりたい自分」みつけましたか?「本気で取り組む2学期」になりましたか?

私の感想を話します。2学期、みなさんの取組を傍らで見ていて私が最も強く思ったのは「**交流の2学期**」です。現地校のみなさんとのふれあい、英語を使ったやりとりや言葉の壁をこえた交流もありました。日本の文化を伝えたり、一緒に学んだり、その交流は大きな大きな渦をつくりました。J S Jらしい素晴らしい交流でした。

そして、もう一つは「**表現の2学期**」です。授業で積極的に自分の考えを伝えようとする姿、クラスの仲間にはわかりやすく話そうとする姿、グループで一つのを創り出そうとする姿、また、それらは授業に限らず、個人の発表、仲間との演技、個性豊かな技など、素晴らしい表現でした。今週、小学部で行われた、EECのクリスマスショータイムでは仲間とストーリーをつくる、思い切って表現する、英語でしっかり伝えるなど、みなさんの個性豊かな表現力に大きく、心を動かされました。どの学年も素晴らしい劇でした。

今紹介した写真はほんの一部です。エントランスに掲示された写真や、みなさんの心の中にある思い出には、さらにもっとステキなものがあることでしょう。私が伝えたいのは「交流」「表現」に真剣に取り組んだみなさんの前向きさこそ、J S Jの誇りだということです。今日の大掃除も見事でした。毎日の挨拶も素晴らしい。充実の2学期になりました。

でも、みなさんの中には「なりたい自分」まだみつからない。思ったほどがんばれなかったな。という人もきっといることでしょう。けれど心配することはありません。成長のスピードは人それぞれです。自分らしく、自分のペースでかまいません。みなさんにはまだまだたくさん時間があります。

さて、みなさん、これは何だかわかりますか?これは木を切ったときに見ることができる「年輪」です。日本では、家を建てる時に昔から木が使われてきました。それは、丈夫で、加工しやすいからだと言われています。色の濃い部分と色の薄い部分がありますね。実はこの差がしなやかで丈夫な木材を生み出しています。濃い部分、強い部分は冬につくられます。つまり、冬があるからこそ強い木が育つのです。

もう一つ質問します。この数字は何でしょう。はい…18日間…明日から始まる冬休みの日数です。この18日間をどうすごすかで、3学期のスタートがよいものになるかどうかが決まるでしょう。「苦手なことにチャレンジ」できたら素晴らしいです。「自分できめたことを続けられたら」…きっと満足のいく成果に結びつくことでしょう。

冬休みを前に私がみなさんに送る言葉はこれです。「**耐えて鍛える冬休み**」。マレーシアには冬はありませんが、J S Jには冬休みがあります。それはなぜか。日本人が大事にしてきた四季を大切にしてほしいからです。もう一度言います。「耐えて鍛える冬休み」…もちろん、「**のんびりする冬休み**」です。上手に、心と体の疲れをとって、エネルギーをたくわえてください。最後に…今学期もみなさんから多くの感動をいただいたことをとてもうれしく、幸せに思います。ありがとうございました。そして、1月8日この「みんなの学び舎J S J」に笑顔で集まってください。「耐えて鍛える冬休み」を、自分なりの工夫と努力で乗り越え、みなさんにとって、この冬休みが来年への良いステップになることを心から願っています。私の話は以上です。熱心に聞いてくださり、ありがとうございました。 校長 北村健治